

ワークショップによる街区公園計画の策定

目的

近年、まちづくりはこれまでの行政主導型から住民参加型、いわゆる住民との「協働」によるまちづくりを行う動きが広がってきています。その中でも、土地区画整理事業で用地確保された街区公園の整備については、下記の理由から住民との協働による計画立案が今後も多く行われていくと考えられます。

【行政の立場】

- 住民が望む施設を作ることで、公園の利用促進が図れます。
- 計画段階から住民が関わることで「自分たちの公園」として愛着がでて住民主体の維持管理体制の確立が期待できます。

【住民の立場】

- もっとも身近な都市施設であり参加しやすい。
- 地域住民が集まる機会を得ることでコミュニティの形成に寄与します。

当社では土地区画整理事業における基本構想策定や設計案の検討などワークショップ（以下WSという）については多くの実績があり、そのノウハウを活かし、WSによる住民参加での街区公園の計画案の立案をご支援させていただくものです。

内容

本業務は、住民の意向を十分反映した公園計画を立案するため、下記のメニューでWSを開催します。

- Step1. 公園のテーマと方向性を考える
- Step2. 先進地視察
- Step3. 公園計画案を考える
- Step4. 公園計画案を決定する

技術ポイント

(1) 公園のテーマと方向性を考える

「街区公園」について理解した上で、自分たちが望む公園のあるべき姿をイメージしてもらいます。

手法としては参加者を数班に分け KJ 法による項目出しを行った後に分類を行い、各班毎の意見を集約していきます。

具体的には公園のイメージとして「ほしい公園（施設）」「いらない公園（施設）」を整理し、それに基づき公園のテーマについて話し合いを行います。

WSで重要なのは住民が意見を言いやすい状況を如何に作り出し議論を活発化させるかということ、出た意見をどのようにまとめて一つの方向に持っていくかです。

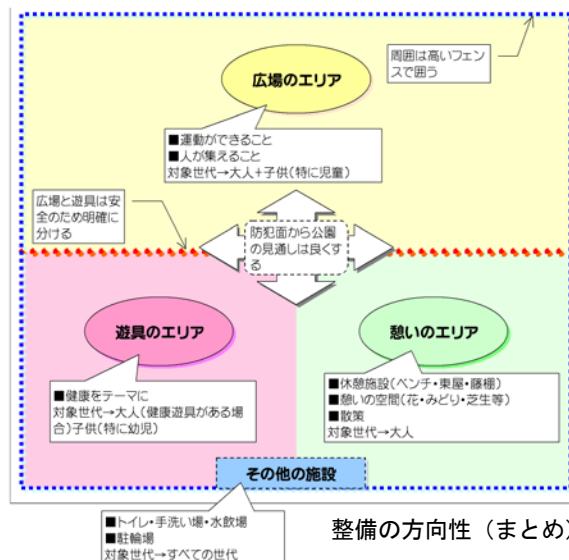
当社では WS の経験豊富なスタッフを配置することで WS の円滑な進行を行うことができます。



WSの様子



発表の様子



(2) 先進地視察

第1回のWSにおいて自分たちの考える公園のイメージができたところで、公園の視察を行います。第2回に行うのは、最初の実例を見ることでイメージが固定されるのを防ぐ意味があります。視察は、公園を見るだけでなく、行政や地元住民の話を聞く場（意見交換会）を設けることができます。

当社では区画整理地区内の公園や設計等を行った公園に関する豊富な情報がありますので、必要な条件で視察先を選定することができます。



意見交換会の様子

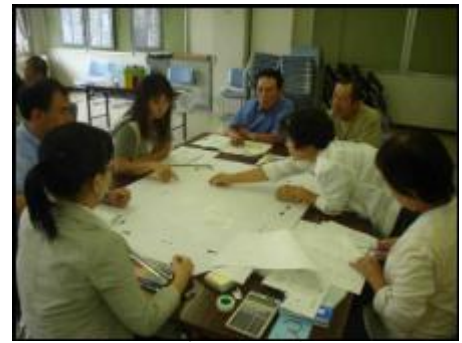


視察の様子

(3) 公園計画案を考える

公園計画を考える際には、住民が考えた案を反映できるように計画が実現可能なものである必要があります。行政が公園整備に投入できる予算には限りがありますのでその旨を住民に周知するために、行政の予算と施設ごとの金額を明示し、予算を考慮した計画案を考えてもらいます。

当社では公園の設計についての豊富な実績から、施設や整備費の例を示し、施設計画の際には安全性や周辺環境への配慮も踏まえた意見交換を行うことができます。



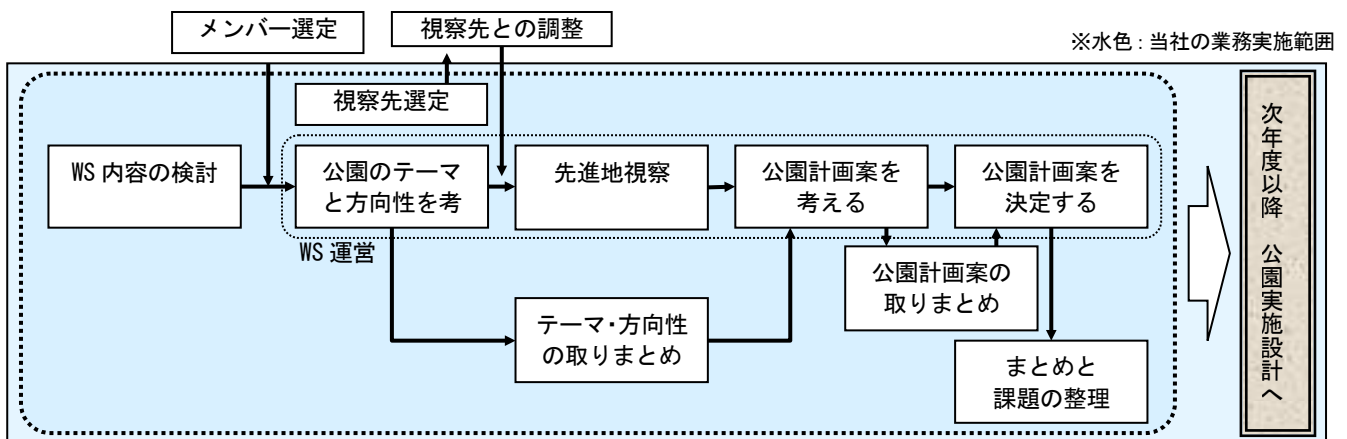
(4) 公園計画案を決定する

前回のWSで各班毎に検討した計画案について、事務局として取りまとめたものを住民に提示し、旗上げアンケートで意見を聞き、計画案を最終決定します。旗上げアンケートは単に多数決を取るものではなく、少数意見などさまざまな人の意見を聞き、それに対して議論をして意見を集約する事が目的です。

当社では実施設計を考慮した計画案の取りまとめをしますので、今後行われる実施設計を円滑に進めることができます。



事業の流れ〔当社の実施範囲〕



当社実績

- H19 春日井市 「篠木四ツ谷1号公園（本林公園）まちづくりワークショップ業務委託」
- H20 大府市 「都市公園実施設計業務」
- H24 稲沢市 「稲沢西地区 2号緑地実施設計業務委託」
- H25 尾張旭市 「都市公園実施設計委託」
- H25 西尾市 「公園設計に係るワークショップ業務」

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)